

## 地中海研究所活動報告

### ☐ 地中海文明研究会例会 ☐

第24回例会 2007年6月23日(土) 15:00-17:00 (文学部36号館7階3703教室)

Laura Sabattoli 「イタリア語教育とラテン語 (Il latino nella didattica dell' italiano) 」

第25回例会 2007年6月27日(水) 14:40-16:40 (文学部39号館第4会議室)

菱沼和秀「古代ギリシアの船について (ヘーミオリア船の復元) 」 (仮題)

### ☐ 講演会 ☐

2007年10月22日(月) 15:30-17:30 (文学部39号館第7会議室)

竹山博英 (立命館大学教授) 「イタリアの墓地に見られる死の芸術」

2007年1月25日(木) 17:00-19:00 (文学部32号館224教室)

Jenifer Neils (クリーヴランド、ケース・ウェスタン大学・古典考古学)

「ミリオン・ダラー・ベイビー スパルタの少女たちとアテナイ市民の眼差し

(Million Dollar Baby: Spartan Girls and the Athenian Gaze) 」

### ☐ シンポジウム ☐

2007年3月17日(土) 13:00-17:30 (文学部39号館第7会議室)

イタリア研究所・地中海研究所共催シンポジウム

「両大戦間のイタリア～文化と社会」

主催：早稲田大学イタリア研究所

コーディネーター

小林勝

藤岡寛己

第1部 13:00-14:20

1. 小林勝「ヴェスコ・プラトリーニと雑誌《カンポ・ディ・マルテ》」
2. 戸田三三冬「1920年代のエッリーコ・マラテスタ」
3. 中村克己「《自由の宗教》のフォルトゥーナ～ヘーゲル・クローチェ・ゴッペッティ」
4. 藤岡寛己「グラムシと未来派 (マリネッティ) 」

第2部 14:40-16:00

1. 奥田耕一郎「未来派建築の変容～第一次大戦後のアントニオ・サンテリア」
2. 堤康德「未来派とファシズム」
3. 西村安弘「国民映画としてのトーキー：マリオ・カメリーニを中心に」
4. 山田高誌「第一次大戦前後における18世紀ナポリ楽派研究とその広がり～前衛をも生み出したナポリの《愛国主義》の成果」

全体討論 16:20～17:30

2007年3月26日(月) 14:00-17:00 (文学部39号館第5会議室)

早稲田大学地中海研究所シンポジウム

「古代地中海世界における病・癒し・祈り」

報告者及び題目

篠塚千恵子「クラシック期ギリシア美術に見る『癒し』の表現」

土屋睦廣「ガレノスとアスクレピオス」

小林雅夫「古典古代の奴隷医師たち」

益田朋幸「初期ビザンティン世界における『祈り』」

コメンテーター・司会

長田年弘

2007年7月14日(土) 13:30-17:00 (学習院女子大学2号館3階236号室)

埼玉大学ルネサンス研究会・早大地中海研究所共催研究発表会

発表者及び題目

絹川陽子(東北大学大学院)「ピサのカンポサントの壁画《死の勝利》に描かれた、人間の腐敗した死体の意味」

足立薫(弘前大学)「ジュリオ・カミッロ『劇場のアイデア』におけるマニエリスム」

上村清雄(千葉大学)「ヴィッラ・ファルネジーナ「ブシュケの間」壁画装飾について」

根占献一(学習院女子大学)「人文学者・翻訳家フランチェスコ・セルドーナティ」

2007年10月20日(土) 14:00 (文学部39号館2階2219教室)

地中海研究所シンポジウム

「ビザンティン写本研究の現在」

報告者及び題目

辻成史「福音書写本の祭祀的構造」

益田朋幸「レクショナリー写本の聖者暦」

瀧口美香「四福音書 British Library, Burney 19」

橋川裕之「総主教アタナシオス書簡 Vat. Gr. 2219」

櫻井タ里子「パルマ福音書 Bibl. Palatina, Parma, Cod. gr. 5」

辻絵理子「テオドロス詩篇 British Library, Add. 19.352」

□ イタリア言語・文化研究会例会 □

連絡先：早稲田大学イタリア研究所内 イタリア言語・文化研究会

E-mail: <wasedaitalia@hotmail.com>

第93回例会 2007年3月17日(土) 13:00-17:30 (文学部39号館6階第7会議室)

早稲田大学イタリア研究所・地中海研究所共催シンポジウム

「両大戦間のイタリア～文化と社会」

主催：早稲田大学イタリア研究所

コーディネーター

小林勝

藤岡寛己

第1部 13:00-14:20

1. 小林勝「ヴェスコ・プラトリーニと雑誌《カンポ・ディ・マルテ》」
2. 戸田三三冬「1920年代のエッリーコ・マラテスト」
3. 中村克己「《自由の宗教》のフォルトゥーナ～ヘーゲル・クローチェ・ゴッペッティ」
4. 藤岡寛己「グラムシと未来派（マリネッティ）」

第2部 14:40-16:00

1. 奥田耕一郎「未来派建築の変容～第一次大戦後のアントニオ・サンテリア」
2. 堤康徳「未来派とファシズム」
3. 西村安弘「国民映画としてのトーキー：マリオ・カメリーニを中心に」
4. 山田高誌「第一次大戦前後における18世紀ナポリ楽派研究とその広がり～前衛をも生み出したナポリの《愛国主義》の成果」

全体討論 16:20-17:30

第94回例会 2007年5月12日(土) 15:00- (文学部39号館6階第7会議室)

福山佑子「フラウィウス朝期のバエティカにおける属州政策」

木名瀬紀子「現代美術が受容したイタリア・ルネサンスの遠近法について」

第95回例会 2007年6月9日(土) 15:00-17:00 (文学部39号館4階第4会議室)

Nello Barile, Andrea Miconi (Università IULM di Milano), "Immaginari di transizione tra vecchi e nuovi media"

第96回例会 2007年7月14日(土) 15:00- (文学部34号館2階第3会議室)

伊藤怜「12世紀ローマにおける壁画装飾とイコンに関する一試論」

土肥秀行「パウンドとパゾリーニ：失われた父性」

第97回例会 2007年10月13日(土) 15:00- (文学部39号館4階第4会議室)

金光真理子「サルデーニャの舞踏音楽の構造 — ラウネッダスの舞踏曲のイスカラ概念をめぐって」

市川慎一「ファシズムへのレジスタンスの一面 — ヴァッレ・ダオスタの場合」

□ 地中海研究所研究員 □

研究員	小林 雅夫（文学学術院教授）：所長
	宮城 徳也（文学学術院教授）
	丸野 稔（文学学術院教授）
	森原 隆（文学学術院教授）
	酒井 紀幸（文学学術院教授）
	益田 朋幸（文学学術院教授）
客員研究員	篠塚 千恵子（東北芸術工科大学芸術学部教授）
	根占 献一（学習院女子大学教授）
	松原 俊文（早稲田大学教育・総合科学学術院非常勤講師、中央大学非常勤講師）
元研究員	GEOGRE MOUSUURAKIS（オークランド大学 Senior Lecturer、新潟大学客員教授）
	引地正俊
	菅田茂昭
	野口洋二
	遠山一郎
	市川慎一
	大高保二郎
	ジュゼピーナ・チェルツリ
	アントニオ・サルトーリ
	シュテファン・シュタイングレーバー
	金 晃賢

連絡先

小林雅夫 E-mail : [masaok@waseda.jp](mailto:masaok@waseda.jp)

〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1

地中海研究所ホームページ : [http://www.waseda.jp/prj-med\\_inst/index.html](http://www.waseda.jp/prj-med_inst/index.html)

（編集後記）

早稲田大学地中海研究所」は、プロジェクト研究所として開設7年を経過しました。苦しい資金不足と闘いながらも、現代スペインに関するシンポジウムを含めて、数回のシンポジウムを『開催し、『紀要第6号』の刊行にこぎつけることができました。今回の『第6号』は、研究所主催のシンポジウム《古代地中海世界の病い・癒し・祈り》と《ビザンティン写本研究》の2つのシンポジウムの全報告を掲載したためもあり、かなり大部なものになっています。本年度の研究活動に参加してくださった方々に深く感謝申し上げます。さらに今回の『紀要第6号』の編集作業に献身的に努力してくださった三井優一さんと櫻井夕里子さんに御礼申し上げます。

小林雅夫